

片中生活だより no.3

『学校と家庭でともに考え話し合おう』

6月26日(水)の5限目に防犯教室(ネットモラルについて)を実施しました。大聖寺警察署の生活安全課の方に「ネットモラル」についてお話をいただきました。1学期 SNS(LINE グループ等)を介してのトラブルが起っています。学校でも折をみて生徒のみなさんにネット・SNSの使用について話をしています。しかし、ネットを介するトラブルは、一度トラブルになると解決が非常に難しい問題です。子どもたちの SNS の使用について、どのように SNS(LINE)を使用しているか、保護者の方には定期的に内容を確認していただきたいと思えます。ネットトラブルは見えない所で起こり、その中身の確認が非常に困難となります。夏休みを前に、スマホのルールづくりやルールの見直しをしていただき、正しくスマホ・SNS を使用していけるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

(1) ネット(SNS)の利用について守ってほしいこと

①「無断で顔写真や動画を SNS 上にアップすること」

- ・投稿した内容が様々な方法で多くの人に広がる可能性がある
- ・画像や動画はインターネット上に残る。

②「人の嫌がることを書きこむ」

- ・人が嫌がること、人を攻撃するようなことは書きこまない。
- ・たくさんの人がその書き込みを見ることになります。

③「LINE グループを勝手に退会させる」

- ・勝手に退会させることは相手を傷つける行為です。



(2) 情報モラル『あなたの知らないネット社会』の怖さについて

非対面性

会わずに成立する コミュニケーション

実社会は対面のコミュニケーションが基本ですがネットは非対面のコミュニケーションが基本です。

表情や声音で伝わるニュアンスが欠落するため、メール、SNS では自分の思いを正確に伝えるために文章表現を工夫する必要があります。

匿名性

見かけ上だけで、 実は特定されやすい。

ネット社会では匿名でメッセージを発信することができます。自ら名乗っている場合も、それが実名とは限りません。しかしプロパダが調べれば、どこから書き込まれたものかを特定することが可能です。

他人を誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう)するような書き込みや犯罪予告など、いつどのパソコンから書き込まれたものかすぐにわかってしまいます。

即時性・広域性

一瞬にして 世界中に情報伝達

ネットの情報は従来のコミュニケーション手段とは異なり、瞬時に相手に届く、海外の相手とも距離を気にせずやりとりができるといった長所があります。

しかし、一度ネット上に流失情報を回収することは困難なので、便利な反面、使い方を誤ると大変危険な事態を招く場合があります。